

## [2\_1]きゅうとNEWSLETTER

<https://hdl.handle.net/2324/1810682>

---

出版情報：きゅうとNEWSLETTER. 2 (1), pp. 1-, 2007-04. 九州大学附属図書館  
バージョン：  
権利関係：





# きゅうと

# VOL. 2

NO.1 新入生歓迎号

2007.4

ここは中央図書館の  
情報サロン。  
図書館は本だけじゃないんだ。



困ったときは  
なんでも聞いてね。  
ここは春日の筑紫分館!



芸術工学分館はいろんな  
芸術作品が展示してあって  
見るだけでも楽しいんだ。



ここが新入生が  
最初に訪れる  
六本松分館だよ。



# ようこそ 九大図書館へ!

外国の学術雑誌も  
たくさん揃ってる。  
特にここ医学分館では  
最新の論文が重要なんだ。



理系図書館は  
新キャンパスにできた  
いちばん新しい図書館だよ。



昔の本から  
学べることは  
たくさんあるんだ。





# こんな図書館なんです

## キーワードでわかる図書館でできること

新入生の皆さん入学おめでとうございます。ここは4月から新しくなった中央図書館<sup>※1</sup>のリフレッシュルームですが、おや、こんなところに雑誌を読んでいる学生に混じってペットボトルを飲みながらひそひそ話をしている2人？の怪しいキャラクターがいますよ。会話の内容はどうやら図書館についてのこのこと。ちょっとこっそり話を聞いてみましょうか。




…いいですね。学生増えました<sup>※2</sup> よね。「きゅうと君<sup>※3</sup>」。最近出番も増えましたよね。



まあね。最近ようやく図書館の顔として認知されてきたというか。落書きっぽいけど、シンプルすぎて意外と目立つらしいし加工もしやすいらしいよ。触覚もキュートらしいし。

あと図書館内はだいたい飲食禁止<sup>※4</sup> だから、今回できたリフレッシュルームは軽い飲食もできて、ちょっと狭いけど休憩にちょうどいいんじゃないかな。

最近は  MyLibrary でネットからいろいろ手続きできるようになったおかげか、図書館に実際に来る学生が少し減ってたんで利用者が増えるのはやっぱりいいね。少しうるさいけど。



…まあまあ。でも静かな空間で勉強したい学生のほうが多いですね。私たちも注意しないといけないけど、お互いに気を遣ってほしいです。

しかし「きゅうと MyLibrary<sup>※5</sup>」で便利になりましたよね。最初に登録は必要だけど、ネットから借りたい図書の手続きはできるし、借りた図書の期限も延長できる<sup>※6</sup> し、なにより他のキャンパスにある図書館の本を最寄りの図書館に取り寄せられる<sup>※7</sup> し。私もちよくちよく使ってます。



学内図書配送ね。あれは便利。でも疲れるんだよ。どのキャンパスにも分館や図書室がある<sup>※8</sup> んで全部まわるのは。



!!きゅうと君が運んでたんですか!やっぱり触覚で飛んでまわってるんですか。箱崎から私の居る伊都地区まで<sup>※9</sup> 大変ですよね。



いや、車で。だからたまに途中で渋滞に捕まっちゃって。



…伊都地区は駐車場が少ないんだから公共交通機関を使ってください。



「キュリット<sup>※10</sup>」がそんなことっていいの。伊都の理系図書館<sup>※11</sup>まで行くのが一番大変だからなー。



はいはい。ところで「きゅうと MyLibrary」で他になにができましたっけ。



意外に気づかれていなくて便利なのは、借りた図書の期限を確認できることかな。返却日はよく忘れちゃうからネットでチェックできるのは助かるよ。そうそう ILL (Inter Library Loan)<sup>※12</sup> サービスのネット申込もできるね。



やっぱり九州大学だけではみつからない資料なんかはどうしてもできますからね。ILL サービスで自分の大学にない資料や論文を他の大学図書館からコピーして取り寄せたり借りたりできると、ちょっとと大学で勉強してるって気になりますよね。



そう？僕だったら購入希望のリクエストをだしてみようけど。図書の性格や値段によるけど結構受け付けてもらえるよ。




…それも一つの方法ですね。でも私はすぐに資料が必要<sup>※13</sup> なことが多いんです。



利用は計画的にね。



はい…使いたい図書が九州大学にあるかどうかを探すといえば、ネット上の図書館の基本的なサービスで  OPAC を忘れちゃいけないですね。



そうだった。「きゅうと OPAC<sup>※14</sup>」を忘れてた。九州大学の蔵書を検索<sup>※15</sup> するときは必須だね。検索方法は手がかりとなる図書名や著者名のキーワードを入力するだけだから、Google なんかの検索サイトと全く変わらない。ただちょっとしたキーワードの入力違いで検索結果が全く変わってしまうようなところも同じなんで、そこは注意しないとイケない。



検索してもみつからなかったり<sup>※16</sup>、効果的な検索の方法については、気軽に図書館にいるレファレンス<sup>※17</sup> 担当職員に尋ねてもらいたいですね。とにかく目録カード<sup>※18</sup> で調べていた頃と比べると格段に便利になりました。

※1 箱崎キャンパスにあります。理学部・農学部の資料が中心ですが、中央だけあって一番大きいです。

※2 図書館の切実な願いです。

※3 附属図書館マスコットキャラクター。知識と情報を求めて飛び回ります。

※4 図書や雑誌の汚れや痛みを防ぐため通常全館禁止です。

※5 学内構成員限定のサービスです。

※6 延長は通常1回に限ります。

※7 雑誌は対象外です。また文系合同図書室と中央図書館間の取寄はできません。

※8 それぞれの図書館・室で利用のルールが異なります。ご注意ください。

※9 九大新キャンパス。福岡市の西端。箱崎からの距離約20km。

※10 理系図書館マスコットキャラクター。自然見らしい (HPの紹介参照)。「きゅうと君」の座を狙っているとかいないとか。



年がばれるよ。



…失礼です。OPAC で探している図書がヒットしても、画面のどの情報を手がかりに探せばいいかわからない学生も多いですよ。



そう、図書はあるはずといってカウンターによく来るんだ。

配架場所	請求記号	資料番号
中国 国際関係学	012/Ma 64	003112001027924

図書を探すときに手がかりになるのはこの表示部分なんだけどね。

【配架場所】で、その図書が図書館や先生の研究室などに所蔵しているかがわかるので、まずは図書館にあることを確認。次は「請求記号」、この順番に図書が並んでいるはずなので、番号を辿っていけば見つけれられるはずだけど…



慣れてないと難しいみたいですね。そんなときでも「資料番号」を控えておいて、職員に尋ねるときはその番号を伝えてくれるとどの図書を探しているかがすぐわかるんですけどね。それと、研究室においている図書をきいてくる学生も多いけど、図書館にない図書は基本的にすぐに利用できないこともあるので申し訳ないです。雑誌はどの図書館でもほしい雑誌名のアルファベット順にならんでいるので、雑誌のコーナーまでいけばそんなに難しくはないはず。



それでも利用者から尋ねられて書架に行ってみたら、あるはずの図書が見つからなくて右往左往することもあるなあ。



そんなときは、たまらずつぶやいちゃいますね。予想…



予想ガイとはホークスファン<sup>※20</sup>でもいわないけどね。図書を館内で利用した後は必ず元の書架の位置に返しておいて欲しいね。



(恥)…あ、そうだ。OPAC で電子ジャーナルを検索して雑誌の場所がわからないって学生いませんか。



いるねえ。九大は特に購読している電子ジャーナルが多いから余計にね。所蔵場所が表示されていなくて、あれ、と思うんだろうけど、そんなときはほしい **Fulltext @ LinQ** このアイコンがあるから、クリックすれば学内の端末ならネット上から雑誌の論文を読むことができる。停電の時以外はね。



利用に支障がでるくらい停電が続いたら、多分電子ジャーナルどころじゃないですね。フフ。



顔が怖いよ。



いえいえ。それと雑誌の論文といえば、OPAC だとその雑誌は検索できても、論文名しかわかっていないようなときは利用できないですよ。



そういうときのために、二次資料があるんだよ。ある論文を誰が書いて、どの雑誌に掲載されているか、だいたいどんな内容なのかという抄録といった情報を収集してまとめて収録している資料があるんだ。乱暴な言い方だけど検索サイトのはしりといったところかなあ。



資料のリメイクじゃないんですね。



図書館のマスコットがそんなことってたらリメイクだよ。もちろん二次資料もデータベースになっているものはたくさんあって、学内の端末でネット上から検索できるようになってるんだ。勉強不足だなあ。



反省です。講習会<sup>※21</sup>にてでてでなおります。



いろんなデータベースごとにちよくちよく案内をだしてるからホームページをチェックしときなよ。それにもともと学生のために主催してるんだけどなあ。早く君が参加を断られるぐらい盛況にならないとね。



まだ講習会には学生さんはそんなに参加してないんですか？



いや、僕が講師の時はいつも満席だけだね。



今度参加してあげます。でもこれだけネットからいろいろできるようになると、やっぱり図書館にこなくなっちゃうのもわかりますね。



…まあ Wikipedia<sup>※22</sup> みたいなサイトもあって、おおかたのことはウェブで調べるとなにかしらヒットするからね。でも、今まで話してきたようなネット上からの機能やツールは、図書館においてある図書や雑誌をより活用するためのものでもあるんだけど。それに図書館にはほしい情報サロン<sup>※23</sup> が併設されてるから、そこで自由に PC を利用できるからね。

※11 伊都地区にできた最も新しい図書館。自動書庫など最新の設備も導入。きれいです。

※12 相互利用サービス。複写や図書の郵送料等の実費は利用者負担です。また大学の予算である大学運営経費以外は取り扱えない分館などもあります。詳細は各図書館相互利用担当係にお問い合わせ下さい。

※13 ILL では通常申し込んでから資料が届くまでおよそ 1 週間程度かかります。

※14 Online Public Access Catalog の略。職員はしょっちゅう「オーバック」と口にしてるのがこれのこと。

※15 一部検索できない資料もあります。

※16 尋ねる前に一度自分で調べてみましょう。

※17 係名は各図書館で異なります。

※18 カードを画像化した「目録カード画像検索システム」もあります。

※19 日本語の雑誌でも五十音順でないことが多いです。

※20 九州大学内でも最大勢力と思われる。

# まだ見ぬ「必読書」へ

六本松分館長 有馬 学



そういえば、学内で学生が自由に利用できる PC って意外に置いてないですね。



うん。あとは図書館によってないところもあるんだけど、**グループでちょっとした勉強会なんかをするための学習室**、結構人気あるんだよ。何人ものとなると自宅でというわけにはなかなかいかないだろうし、ホワイトボードなんかもあるから使いやすいんじゃないかな。



サークルのちょっとした部室代わりに使えたりもして。



予約制で時間制限付きだよ。だいたいそんなに大きな声は出せないしね。



あらら。じゃあ駄目ですね。



部室はともかく、**ビデオや DVD をみるためのブース**があることも結構知られてなかったりするから、なにはともあれ一度図書館にきてみて自分なりにどう使えるかみてもらいたいな。  
**六本松分館**<sup>※24</sup>には書店にあるような一般書なんかも結構おいているし、毎日きている各社の新聞を見比べるだけでもいろんな発見があると思うんだけど。



要は自分の足で確かめろってことですね。…でも初めて来る学生さんって入口の前で立ち止まりませんか？



もう痛いことづくすな。学生証<sup>※25</sup>が**図書館の利用者票**でもあることも、悲しいことにあんまり知られてないみたいなんだよな。入口のゲートを通るのも、図書を借りたりするためにカウンターで手続きするのもこれ1枚でOK.とにかく…



「九州大学へ、図書館へようこそ!!」

なんだ、こっそり聞いていたのは全部ばれてたみたい。でも図書館職員も2人？ともども来館をお待ちしています。ようこそ!!



※21 学生の皆さんの参加をお待ちしております。

※22 ウェブ上のフリー百科事典。

※23 プリンターは置いていない図書館がほとんどなので注意。

※24 新入学部生はおそらく一番最初に訪れるだろう図書館。再来年には移転でなくなっちゃうので行ってみてね。

※25 裏の10桁の番号(バーコード)がIDとなります。

私が学生の頃だからずいぶん昔の話になるが、何かの雑誌で「まだ読んだことのない必読書を挙げてください」というアンケート企画を見たことがある。要するに、世に必読書とされているものでまだ読んだことがないものを著名人に回答してもらおうというアンケートである。ただの思いつきといえばそれまでだが、結構ひねった企画だ。

結果としてダントツの一位だったのは何だと思えますか？

答えは、マルクスの『資本論』。『聖書』もかなり上位だったように記憶している。新入生の皆さんにとっては、「？」の連続だろうが、ある年齢から上の世代にとっては「なるほど」の結果ではないだろうか。

ここでの必読書はもちろん専門書ではない。専門家以外の人にも必要な「教養」としての必読書である。ミソは、「だけど読んでない」というところだろう。ここでは、実際に読んだか読まなかではなく、何となく読まなければいけないという規範が共通に了解されていることが重要なのである。回答者自身の中にも読者にも必読書のリストが存在し、それらはかなりの程度重複しているという時代があったわけだ。

この企画は今日では成り立たないだろう。理由は簡単である。共有された「教養」のイメージがもはや存在しないからだ。それは嘆かわしいことだろうか。そうかもしれないし、そうでないかもしれない。共有された「教養」のイメージが存在しないのは、古典的な教養概念が現実への対応能力を失い、解体してしまったからである。それは嘆いてもはじまらないことだ。しかし、大学が物事を根源的に考えるトレーニングの場であるとするなら、私たちはどこかへ行ってしまった必読書リスト(規範)の代わりに、出来合いのではない自前の必読書リストを作っていかなければならないのだとも言える。

新入生の皆さんには、まだ見ぬ必読書との出会いを求めて、本の森に分け入ってほしい。それは地図のない旅だ。でも一度や二度、迷子になったっていいではないか。



その1

# まずは OPAC から覚えよう！

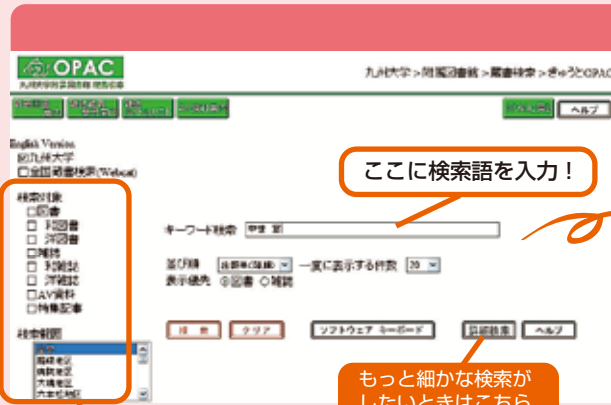
きゅうとおーぱっく

OPACとは、Online Public Access Catalogの略。九大が所蔵している図書や雑誌が検索できるデータベースのことだ。

九大には、7つの図書館・室、370万冊を超える蔵書がある。いつも行く図書館に並んでるのは、ほんの一部なのだ。その膨大な資料を使って勉強しようと思ったら、まずは、このOPACの使い方を覚えなくちゃならない。しかも、九大の中だけでなく、日本中の大学の蔵書も検索できるこのOPAC。使い方は簡単。OPACをマスターして、大海に漕ぎ出してゆこう！

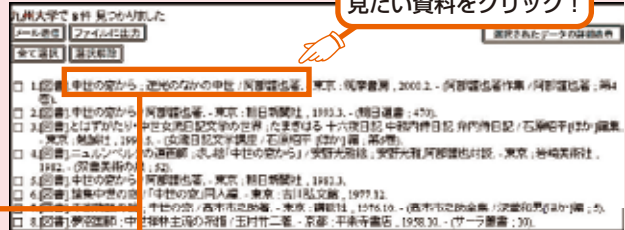
ここからアクセス！

附属図書館 HP → きゅうと OPAC



検索結果が一覧ででてくる

見たい資料をクリック！



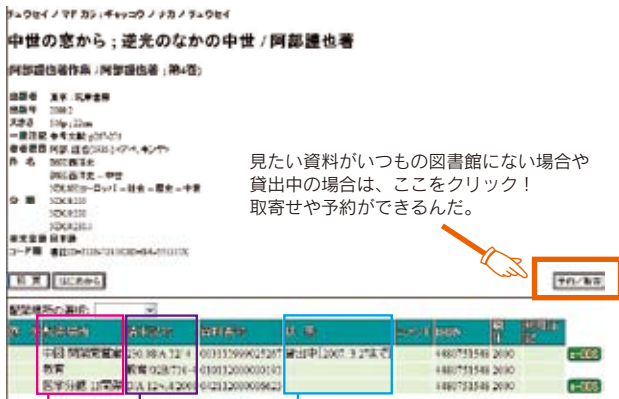
検索対象を絞り込みたいときはここをチェック

もっと細かな検索がしたいときはこちら

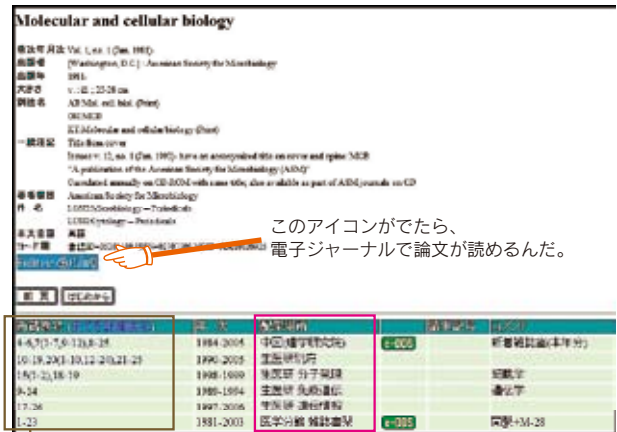
図書

資料の詳細が表示される

雑誌



見たい資料がいつもの図書館にない場合や貸出中の場合は、ここをクリック！取寄せや予約ができるんだ。



このアイコンがでたら、電子ジャーナルで論文が読めるんだ。

- 状態**  
貸出中、予約中、禁帯出などの情報をここで確認。
- 請求記号**  
図書の背ラベルの記号。図書はこの順に並んでいる。
- 配架場所**  
九大のどの図書館(室)のどの場所にあるか。クリックすると、連絡先や館内図が表示されるよ。

- 所蔵巻号**  
配架場所ごとに所蔵している巻・号を表示。+が付いているものは、継続して購読中。

よくわからないときは資料番号をメモしてカウンターの職員に尋ねてみよう

## 九大になくても!!

0件です、と出たら、こっちも試してみてください。全国の大学図書館等の所蔵を一括検索できるよ。有料だけど、他大学からも取寄せられるんだ。



ここにチェックをいれて、同じように検索



その2

あなただけの図書館ポータルサイト  
MyLibrary にも今すぐ登録!  
きゅうとまいらいぶらりー



MyLibrary に登録すると

- あー、借りた本、まだ読み終わってない…そうだ延長しとこ!
- あれっ、いま何借りてたっけ? ちょっと確認…
- 読みたい本が他のキャンパスにあるなー。よし、取寄せよう。
- 九大にない文献を他大学から複写してもらおう。(有料だけど) こんなことが、自宅からでもWebでできるんです。

まずは附属図書館 HP → MyLibrary へアクセス! 学生証を見ながら登録してみよう

パスワード新規登録

図書館利用者 ID: 1070123450

メールアドレス: wa987654@s.kyushu-u.ac.jp

学生証: 平成19年度入学 文学部入学  
氏名: きゅうと太郎  
所属: 文学部  
wa987654 abcdef

※IDは別名ニックネームが登録できるし、メールアドレスも変更できるから便利なのだ

その3

こんなこともやってるよ! 九大 SNS

SNSってきいたことありますか? mixiならきいたことありますね? そう、SNSとは、Social Networking Service、Web上で交流できる会員制のWebサービスです。九大図書館と地域SNSであるVARRYが連携して、九大SNSを作りました。



学生同士、学生と図書館をつなぐコミュニティサービス。図書館員もみなさんの情報入手や検索をサポートします。まだまだ始まったばかりですが、今後図書館のHPやOPACなどのサービスと連携を図り、九大人同士のつながりを広げてゆきます。

VARRYってベイリーと読むんだけど、実は博多弁の「ばり××!」の「ばり」からきてるんだって!

<http://sns.lib.kyushu-u.ac.jp>  
友達を誘って、今すぐ入会しよう!

番外

図書館員が出前します! オンデマンド講習会

図書館では、さまざまな講習会のほかに、利用者のみなさんのご要望に応じたオーダーメイドの講習会をやっています。ゼミやグループなどで利用できます。

- 図書館の使い方をレクチャーしてほしい
  - いろいろなデータベースのこと知りたい などなど、お気軽にお申込下さい。
- 日程や場所、内容を打合せのうえ、図書館職員が出前します。

<お申込・お問合せはこちら>  
附属図書館利用支援課調査サービス係  
tel.642-2336 fax.642-2340  
e-mail: ref1@lib.kyushu-u.ac.jp

ほかにもできる、あんなことこんなこと。まずは図書館へGO!

図書館員の おしゃべり コラム

私が新入生だった時、大学の蔵書目録がようやくオンラインで検索できるようになり始めた頃で、それがもの珍しくて、図書館を訪ねては、特に意味も無く検索をして、その結果にきゃっきゃ騒いでおりました。そんなある日、ちょっとふざけて、「ドラえもん のび太と鉄人兵団」と検索画面に入力してみました。やはり1件もヒットしません。うーん、そんな文献は一冊もないのかー、などといかにも困った学者風に小首をかしげていたところ、親切にも職員の方が近寄ってきて、何かお探しですかと画面を覗き込もうとしたものだから、恥ずかしくて、画面に映った「ドラえもん」の文字を必死に指で隠した経験があります。まったくもう当時の図書館員ってほんとに素晴らしいタイミングでお世話を焼いてくれましたね。



さて、12年たって、そんなおせっかいな図書館員に私もなっちゃったわけです。唐突ですけど、私は新入生のみなさんのドラえもんでありたいです。  
「ドラえもん、論文間の引用・被引用の関係を調べたいよー」「うふふ、それなら、ウェブオブサイエンス(^o^)」  
「ドラえもん、同じ趣味を持っている九大の人と知り合いたいよー」「うふふ、九大SNS(^o^)」  
ということで、他にもいろいろ秘密道具あります。詳しく知りたい方は図書館までお越しください。お待ちしてます。

(医学分館 K.H.)